

## 平成 2 4 年度第 2 回水道審議会会議録

日 時	平成 2 5 年 1 月 1 7 日 (木) 午後 1 時 3 0 分～ 3 時													
場 所	秦野市水道局庁舎 2 階会議室													
出席委員 (◎会 長) (○副会長) 〔敬称略〕	◎松下 雅雄、松原 沙織、荒川 裕美子、宮田 義範、 ○川口 浩太、中山 知江、伊藤 勝、齊藤 政和、栗原 千恵子、 川口 準一、石川 道隆、古谷 茂男 計 1 2 名													
欠席委員 〔敬称略〕	丹羽 恵理子、長井 栄一、高橋 宣明 計 3 名													
委員以外 の出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">水道局長 山口 誠一</td> <td style="width: 50%;">水道施設課長 松本 克己</td> </tr> <tr> <td>水道業務課長 福井 哲也</td> <td>水道施設課課長補佐(建設担当) 原 恵一</td> </tr> <tr> <td>水道業務課課長補佐(庶務担当) 和田 安弘</td> <td>水道施設課課長補佐(給水維持担当) 根岸 毅</td> </tr> <tr> <td>水道業務課課長補佐(経理担当) 原 正人</td> <td>水道施設課課長補佐(浄水担当) 大原 享</td> </tr> <tr> <td>水道業務課課長補佐(料金担当) 田中 和也</td> <td>計画担当技幹 西沢 光吉</td> </tr> <tr> <td>水道業務課庶務班主査 三河 秋実</td> <td></td> </tr> </table>		水道局長 山口 誠一	水道施設課長 松本 克己	水道業務課長 福井 哲也	水道施設課課長補佐(建設担当) 原 恵一	水道業務課課長補佐(庶務担当) 和田 安弘	水道施設課課長補佐(給水維持担当) 根岸 毅	水道業務課課長補佐(経理担当) 原 正人	水道施設課課長補佐(浄水担当) 大原 享	水道業務課課長補佐(料金担当) 田中 和也	計画担当技幹 西沢 光吉	水道業務課庶務班主査 三河 秋実	
水道局長 山口 誠一	水道施設課長 松本 克己													
水道業務課長 福井 哲也	水道施設課課長補佐(建設担当) 原 恵一													
水道業務課課長補佐(庶務担当) 和田 安弘	水道施設課課長補佐(給水維持担当) 根岸 毅													
水道業務課課長補佐(経理担当) 原 正人	水道施設課課長補佐(浄水担当) 大原 享													
水道業務課課長補佐(料金担当) 田中 和也	計画担当技幹 西沢 光吉													
水道業務課庶務班主査 三河 秋実														
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 会長あいさつ</li> <li>3 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成 2 5 年度秦野市水道事業会計予算(案)について</li> <li>(2) その他                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 秦野市水道事業水道技術管理者及び布設工事監督者に関する条例の制定について(報告)</li> <li>イ 地方公営企業法の一部改正について(報告)</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>4 閉会</li> </ol>													
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 2 4 年度 第 2 回秦野市水道審議会次第</li> <li>・資料 1 平成 2 5 年度主要施策説明書</li> <li>・資料 2 平成 2 5 年度秦野市水道事業会計予算(案)総括表</li> <li>・資料 3 水使用実績表(過去 10 年間の有収水量の推移)</li> <li>・資料 4 水道事業財政計画《平成 2 3 年度～ 3 2 年度》と予算(案)との比較表</li> <li>・資料 5 秦野市水道事業水道技術管理者及び布設工事監督者に関する条例</li> <li>・資料 6 水道技術管理者・布設工事監督者の資格一覧表</li> <li>・資料 7 地方公営企業会計制度の見直しについて</li> <li>・平成 2 3 年度水道事業統計要覧</li> </ul>													

水道業務課 課長補佐(庶務担当)	最初に、前回の審議会を欠席された、松原委員、川口委員、石川委員、自己紹介をお願いします。
	<p>—松原 沙織委員自己紹介—</p> <p>—川口 準一委員自己紹介—</p> <p>—石川 道隆委員自己紹介—</p>
水道業務課 課長補佐(庶務担当)	<p>本日、机上には、本市で平成20年から製造・販売しているボトルウォーター「おいしい秦野の水」を置かせていただきました。</p> <p>昨年11月に3度目のパッケージをリニューアルしました。デザインは、観光協会に委託し、丹沢の山々から秦野盆地にしみ込んだ水をイメージしています。</p> <p>また、裏には秦野商工会議所が新設した秦野特産物のブランド「みっけもん秦野」の認証を取得し、そのロゴマークも入れています。</p> <p>さて、会議の成立についてですが、委員総数15名のうち、12名の出席がありましたので、秦野市水道審議会規則第6条第2項の規定により、審議会が成立していることを報告します。</p> <p>それでは、平成24年度第2回秦野市水道審議会を開会します。</p> <p>松下会長、あいさつをお願いします。</p> <p>—会長あいさつ—</p> <p>—資料の確認—</p>
水道業務課 課長補佐(庶務担当)	会長に進行をお願いします。
松下会長	<p>次第に従い、「議題1 平成25年度水道事業会計予算(案)について」を議題といたします。</p> <p>事務局からの説明をお願いします。</p> <p>—水道業務課長が資料1～4により説明—</p>
水道業務課長	事務局からの説明が終わりました。質問や意見をお願いします。
宮田委員	水道利用加入金の収入が1,000万円増で計上されていますが、これはなぜですか。
水道業務課長	水道利用加入金の収入増は、住宅開発の増加を見込んで計上しま

した。

山口局長

26年4月からは消費税増税の予定がありますので、駆け込み需要があるのではないかとということも考慮しました。

石川委員

水道利用加入金の1件当たりの金額を教えてください。

山口局長

口径により違います。口径13ミリが15万円、20ミリが20万円、口径100ミリになると1,000万円です。ただし、秦野市に3年以上居住している場合は2分の1の額となります。

中山委員

「おいしい秦野の水」の売上げは、その他の収益になるのですか。

水道業務課長

ペットボトルについては、「収益的収入」の「雑収益」となりますので、「その他雑収益」に含まれています。

松下会長

ほかにありませんか。

—特になし—

松下会長

それでは、「議題2 その他」に移ります。  
報告案件が2件ありますが、それぞれ事務局からの説明を受けた後、質疑応答を最後に行います。  
事務局からの説明を求めます。

—水道業務課課長補佐(庶務担当)が資料5・6により説明—

—水道業務課課長補佐(経理担当)が資料7により説明—

松下会長

事務局からの説明について、意見、質問をお願いします。

古谷委員

地方公営企業法の改正に伴い、財政計画を見直さなくてよいのですか。

水道業務課長

本来なら、この制度改正とともに財政計画も修正が望ましいと思いますが、実質的に表示方法の変更であるため、現在の形で支障がありません。今後修正すべきところは修正していきます。

松原委員

減価償却のみなし償却の廃止について、聞きます。過年度分の減価償却40億円について、この改正で全て資本剰余金で補うという

ことは、企業会計制度では原則から外れているのですが、特に問題はないのですか。

水道業務課  
課長補佐(経理担当)

公営企業会計制度の見直しに伴うものですので、総務省から減価償却していなかった分について累計額を増やし、その代りに資本剰余金を減らすという処理が提示されています。

松下会長

ほかにございませぬか。  
ないようでしたら、事務局から連絡事項をお願いします。

水道業務課  
課長補佐(庶務担当)

水道局では、5級以上の職員を対象として、毎月1回水道に関するテーマを決め、課題検討会議を実施しています。本日、この後、課題検討会議の開催を予定しており、テーマを「おいしい水」としています。

水のおいしさは、様々な要件によって左右され、飲む人のおかれた環境条件によっても違ってきます。

ぜひ、秦野市の代表的な水道水、これは、地下水、表流水、県水とありますが、これらを飲み比べていただき、参考までにどの水道水がおいしいか、お聞かせいただければと思います。

おいしいと感じられた水の番号をお聞きしますので、挙手にてお答えください。

(委員全員試飲)

「1」の水が1番おいしいと感じた方	<u>6</u> 名
「2」の水が1番おいしいと感じた方	<u>3</u> 名
「3」の水が1番おいしいと感じた方	<u>3</u> 名

「1」は、羽根取水場の水で、100%地下水を水源としており、ペットボトルの原水と同じものです。

「2」は、堀山下中区配水場の水で、河川の表流水を水源としています。

「3」は、二夕子送水ポンプ場の水で、県水で自己水とのブレンドはありません。

今後も、安全で安心できる「おいしい水道水」の安定供給に努めたいと思います。ご協力ありがとうございました。

今年度の審議会は、今回で終了となります。来年度の審議会は、今年度同様、水道事業の決算と予算を予定していますので、よろしくをお願いします。

ここで、水道局長からあいさつを申し上げます。

山口局長

本日は、お忙しい中、時間を割いていただきましてありがとうございました。

急きょ、利き水もでき、おかげさまで平成24年度の審議会は、終了することができました。

来年度の水道審議会は、消費税増税などが控えてはいますが、料金改定などの特別な案件がないため、予算、決算についての説明で2回を予定しています。

景気低迷による水需要の落ち込み等の中、施設の更新を進めていかなくてははいけません。今後、委員の皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いします。

松下会長

以上をもちまして、平成24年度第2回水道審議会を終了します。

[午後3時終了]